

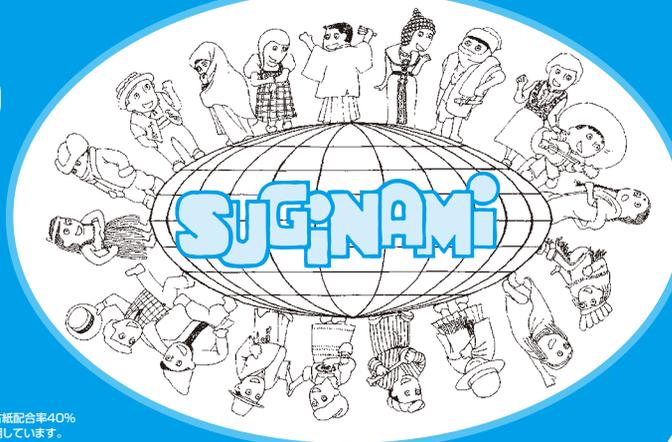
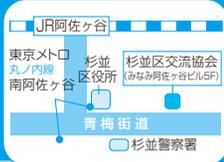
すぎなみ交流ニュース

第25号

2012年7月

Suginami Cultural Exchange News

すぎなみ 교류 소식
杉並的交流消息



◆発行: 杉並区交流協会 [Suginami Association for Cultural Exchange (SACE)]
〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-2 みなみ阿佐ヶ谷ビル5階 [Minami-Asagaya Bldg. 5F 1-14-2 Asagaya-Minami, Suginami-ku, Tokyo 166-0004 Japan]
TEL.03-5378-8833 FAX.03-5378-8844 E-mail: info@suginami-kouryu.org
<http://www.suginami-kouryu.org/>

◆年4回発行◆協会情報誌は区内施設窓口、区内の駅広報スタンドなどに置いてあります。 **240** この印刷物は古紙配合率40%の再生紙を使用しています。



ようこそ! 新しい友だち!

ウェルカムパーティー2012 開催しました!

空が気持ちよく晴れ渡った5月19日(土)、ウェルカムパーティーが杉並区立杉並第一小学校で行われました。当日は、アメリカ・アルゼンチン・中国・イギリス・イタリアなど27の国と地域からの外国人が54名、日本人80名とボランティアの方々77名の総勢211名が集い、汗をかきながらとても楽しいひとときを過ごしました。

今回はこの4月に初めて日本に来たばかりの人が多く、言葉も風習も違う人たち同士が、一生懸命かたこと言葉で会話をしたり、ジェスチャーを駆使して、異文化交流が活発に行われました。みなさんが笑顔で交流している姿がとても印象的なパーティーでした。

(広報部 C&I)

防災体験

パーティーは、参加者全員が打ち解けるようなゲームで始まり、その後グループにわかれて防災体験をしました。それぞれのブースでは、杉並消防署・区防災課・杉並清掃事務所などからの丁寧な説明があり、外国の方々も通訳の人と一緒にいろいろ学ぶことができました。地震の怖さはみんなよく知っていて、日本における防災について活発な質問があり、防災の意識も高められたと思います。



← 消火器は留め具を外し、燃えているところにノズルを向けてレバーを握ります。一度体験しておくとも慌てずすみすね。天ぷら油に火がついたときは、濡らした毛布をかぶせるほうが効果的とか。



← 110番・119番に日本語で電話をかける練習。住所はゆつくり、はっきりと言います。



↑ 心臓マッサージのやり方や、AEDの使い方も一度体験しておきたいですね。



↑ 2階の窓から逃げなくてはならないとき、ロープ結びを覚えておくと、伝って下りられます。

このほかにも、防災用品の説明・ごみの分別の仕方・震度5で止まるガスの復旧作業のやり方・煙で充満したtentの中を通る訓練などが行われました。

昼食・レクリエーション



↑ ごはんはお湯(または水)を入れればできるアルファ米。丸美屋食品(本社:杉並区)提供のふりかけをかけて、おにぎりを作りました。お味噌汁もついて、おいしいと大好評。



↑ 自己紹介ゲームやことわざ当てクイズ、おたまでピンポン玉を運ぶリレーもあって、まるで昔からの友だちのように和気あいあい! 楽しかったあ!

昼食の食器はディッシュ・リユース・システムを利用し、各自洗って、ごみ減量に協力しました。

協力: 杉並消防署・杉並消防団・杉並清掃事務所・区役所防災課・すぎなみ環境ネットワーク・東京都葛飾福祉工場・東京ガス・ミサワホームインク

非常用持ち出し袋

いざというときに持ち出すものを日頃から準備しておきましょう。

- 非常食(最低3日分)
- 飲料水(最低3日分)
- 燃料(卓上コンロなど)
- 携帯ラジオ
- 懐中電灯
- 貴重品・現金(10円硬貨があると便利)
- 衣類(下着やタオルなど)
- 薬・傷薬(持病のある人は忘れず)
- 毛布
- ヘルメット
- その他(ライター・マッチ・ろうそく・軍手・紙皿・紙コップ・ナイフ・缶切り・栓抜き・ティッシュ・ホイッスルなど)



↑ 火を使わない食料も種類が多く、味もなかなか



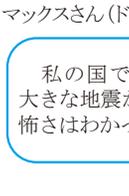
↑ 家具をしっかり固定しておくことも大切です

ウェルカムパーティーに参加した外国人に聞きました



去年の3月11日は東京にいて、すごい揺れに遭いました。びっくりして外に飛び出したけど、ガラスとか落ちてきてかえって危ないですってね。

マックスさん(ドイツ)



私の国では10年くらい前に大きな地震があったので、地震の怖さはわかっているつもりです。

オコトさん(ケニア)

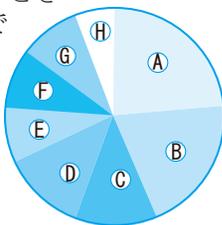


アフリカではほとんど地震はないです。この4月に来たばかりですが東京はよく揺れるので怖いです。でも寮にいて周りに友だちがいるから大丈夫。

ディアナさん(コロンビア)

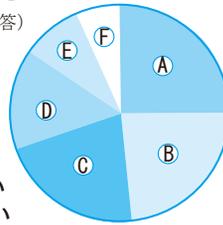
① 東日本大震災のとき日本にいた人に質問。地震のとき困ったことは何ですか? (複数回答)

- A 特に困ったことはなかった
- B 必要な情報を手に入れることができなかった
- C 情報が日本語なので読むことができなかった
- D 日本にいる家族や友人と連絡がとれなかった
- E 本国の家族や友人と連絡がとれなかった
- F どこに避難すればいいかわからなかった
- G 食料や水を調達することができなかった
- H 帰宅困難者になった



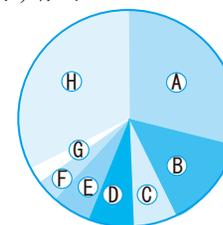
② 今後、もし災害が起きたら、何に不安を感じますか? (複数回答)

- A 何から情報を入手できるのかわからない
- B どこに避難すればいいのかわからない
- C それぞれの災害に対してどのような対応をしていいのかわからない
- D 日本語が読めないのに、母国語で書かれた情報がない
- E 誰に頼ればいいのかかわからない
- F 特に困ることはない



③ 現在、杉並区の情報を、何から手に入れてありますか? (複数回答)

- A 日本人の知人
- B 家族
- C 杉並区役所HP(英語)
- D すぎなみくらしの便利帳(日本語・英語)
- E 手に入れることができない
- F 広報すぎなみ
- G Hello! Suginami(英語版区報)
- H その他(インターネット・留学生寮・手紙・区役所)

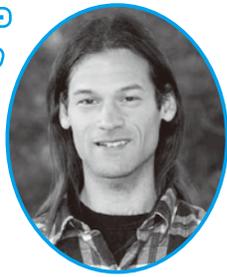


杉並区交流協会では今後も外国人の方にアンケートをとって、現状を把握していきます。彼らに正しい情報を送り、不安を少なくしていくよう改善していきます。

外国人49名から回答をいただきました。

ふれあいの場から
第1回

折り紙に魅せられて 日本人と交流



「ふれあいの場から」では、杉並区で様々な人と交流している方を紹介します。第1回は、グレッグ ムダリさんです。グレッグさんは、現在、杉並区阿佐ヶ谷にあるNPOチューニング・フォー・ザ・フューチャーに所属し、折り紙アーティストとして杉並区でご活躍中です。(広報部 C&K)

***自己紹介をお願いいたします。**

アメリカのボストン出身です。小さい頃から折り紙に興味を持ち日本が大好きになりました。2004年から1年余り英語教師として日本に滞在しましたが、日本文化の理解とアート活動をするのを切望し、2010年5月に再来日しました。

***いつもはどのような活動をされているのでしょうか？**

折り紙が大好きで、「えいごでアート」「えいごで折り紙」など英語で折り紙やアートのワークショップを開いています。また、子供向けの英語イベントなどで子供に絵本の読み聞かせをしたり英語で遊んだりもしています。杉並区の参加者が多いのが特徴です。

***折り紙の魅力とはなんなのでしょうか？**

1枚の紙でなんでも作れることです。折り紙の素材では和紙がとても好きですが、和紙そのものがアートだと思っています。私は折り紙をただ折るのではなく、アートとして作品を作ります。折り紙アートは新しい分野ですが、今や折り紙はOrigamiとしてアメリカでもよく知られておりアメリカにいる折り紙の先生と本を出版したりもしました。折り紙が大好きです。

***日本人の印象はどうでしょうか？**

日本人の人は考えていることをいつも言わないといわれていますが、丁寧で親切な方がとても多いと思います。

***今後の抱負をお願いいたします。**

自分のアートに関連して杉並区で活動ができたらいと思っています。私は日本が大好きです。母国ではない場所でアートを追及していくことはとても大変ですが、あきらめないで自分のできることを信じていったらなんでもできると思っています。

日本が大好きで日本に住むことがとても自分にあっているとおっしゃっているグレッグさん。日本語も堪能で、折り紙や日本に対する思いをたくさんお話いただきました。みなさんも道端でグレッグさんをお見かけになりましたら、ぜひお気軽に声をかけてみてくださいね！



↑グレッグさんの作品『日本猿』

●2012年7月9日(月) 日本に在留する外国人の方に関する登録制度が変わります！

従来の「外国人登録法」が廃止され、新たな在留管理制度の導入と住民基本台帳法の改正により、外国人住人の方の新制度がスタートします。それにより、「在留カードの交付」・「在留期間が最長5年」・「住民票が作成される」などとなります。詳しくは、以下までお問い合わせください。

住民票に関して ……区民課 Tel:03-3312-2111 (杉並区役所代表)

在留管理に関して ……外国人在留総合 インフォメーションセンター Tel:0570-013904 (英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語で対応)

……外国人総合相談支援センター(新宿) Tel:03-3202-5535 (曜日により、英語・中国語・ポルトガル語・ベンガル語・ベトナム語・インドネシア語・ルーマニア語で対応)



Event Information from SACE 交流イベント情報

■ 杉並区交流協会から ■

●杉並区ワールドカフェ・サロン
(杉並区に関わるテーマを題材とした話合いの場/12月まで毎月1回開催)
7月から9月迄の開催予定

◇日時: ①7月21日(土) 14:00~17:00
②8月18日(土) 14:00~17:00
③9月15日(土) 14:00~17:00
◇場所: ①杉並区立産業商工会館
②/③あんさんぶる荻窪
◇定員: 50名(先着順)
◇費用: 300円(コーヒー・紅茶付、保険料を含む)



◇申込み: 各回毎月1日より募集を開始。氏名・性別・年齢・連絡先を記入の上、杉並区交流協会へ

●杉並区80周年まつり
(10月13日(土)~14日(日))
……区制80周年を記念して物産展や各国の食文化紹介などを予定



●海外文化セミナー
(11月17日(土))……外国の歴史・文化などの紹介と相互理解

●イヤーズエンドパーティー
(12月15日(土))……交流協会の活動報告や会員同士の交流

●ジャパnディ
(2月2日(土))……外国人を対象に日本舞踊・華道・茶道などの日本の伝統文化体験

●日本語スピーチ大会
(3月2日(土))……外国人が日本の生活で感じたことなどをテーマに日本語で発表するコンテスト

■ 区役所文化・交流課から ■

杉並区の交流都市による下記物産販売イベントが行われますので、ご来場をお待ちしております。

●小千谷ふるさと市場
◇日時: 7月4日(水) 10:00~14:00

●吾妻の朝市
◇日時: 7月26日(木)、8月23日(木)、9月27日(木) 10:00~13:00

●青梅市の観光物産展
◇日時: 7月30日(月)~31日(火) 10:00~15:00

●北塩原村物産展
◇日時: 9月20日(木)~21日(金) 10:00~15:00

【上記4イベント共通】
◇場所: 杉並区役所中杉通り側入口前
◇問合せ: 区役所文化・交流課交流推進担当 ☎03-3312-2111 (代表)
*雨天実施/売り切れ次第終了
*マイバッグ(買い物袋)持参

杉並区・交流都市でのイベント予定

●相馬野馬追(南相馬市)

◇開催日: 7月28日(土)~30日(月)

●阿佐谷七夕まつり
◇開催日: 8月3日(金)~7日(火)

●青梅納涼花火大会(青梅市)
◇開催日: 8月4日(土) 19:30~20:40

●高円寺阿波おどり
◇開催日: 8月25日(土)~26日(日) 17:00~20:00

●片貝まつり(小千谷市)
◇開催日: 9月9日(日)~10日(月)
※上記イベントの詳細は主催団体のホームページなどでご確認ください。

杉並区と南相馬市の絆 さらに深く

これまでに杉並区民などから南相馬市に届けた義援金は、総額4億4827万円(南相馬市義援金募集実行委員会の2億1327万円と個人からの有価証券など2億3500万円相当)に達します。南相馬市の人口は約7万人。



南相馬市役所1階ロビーに掲示されている杉並区の応援ポスター

震災後、1万人ほどに激減した市内居住者は、今年5月には4万4千人まで回復しました。しかし、子どもたちの帰還率は、小学生約5割、中学生約6割。多くの若い世代が、今も避難先から戻れない状況が続いています。

◆小高区、求むボランティア

南相馬市の復興・復旧の難しさは、3つの自治体(原町市・小高町・鹿島町)が合併してから6年しかたっていないこと、さらに福島第1原発からの距離によって地域が分断されているためです。4月に小高区の警戒区域指定が解除され、人々は1年ぶりに自宅の片づけができるようになりました。がれきの撤去や泥出し作業などの人手が足りません。

ボランティアセンターは、週末(金・土・日)に活動するボランティアを募集しています。参加希望者は、下記サイトで状況を確認の上、ぜひ、ご協力ください。

【南相馬市生活復旧ボランティアセンター】

ホームページ: <http://minamisoma.jimdo.com/>

ブログ: <http://ameblo.jp/minamisoma-svc/>

◆「南相馬市みらい夢基金」

杉並区民などからの義援金で「南相馬市みらい夢基金」が創設されました。この基金は、「次世代の育成や地域コミュニティの再生及び活性化など市民が将来に夢や希望を抱くことができる事業」に活用されます。今年度、「みらい夢基金」で取り組まれるのは、(1)南相馬・杉並区スポーツ交流事業補助、(2)複式学級解消事業、(3)個別学習支援事業、(4)災害記録編纂事業、(5)相馬野馬追伝承映画作成事業の5つです。

この記事は、5月24日に個人的に南相馬市を訪問した際、杉並区から同市に派遣されている職員の方からのお話しをもとにまとめました。その間に立ち寄った喫茶店では、私が杉並区の住民だと分かったら、オーナーやお客さんから「お世話になっています」と声をかけられ、発災当時のことや避難生活などについてお話しを聞くことができました。今回の訪問を通じて、これまでのスポーツや青少年交流などの積み重ねが、2つの自治体の人々の心に思いやりの気持ちを育み、この支援活動を支えているのだと、改めて実感することができました。(広報部T)

交流協会の会員になりませんか？

杉並区交流協会では、国内・国際交流の推進をはかるために、様々なイベントを企画しています。あなたも会員になって、楽しく交流しませんか？

年度会費 ・個人会員 1,000円/年 (9月以降入会の場合は初年度に限り500円)
・法人会員 20,000円/年

会員期間 入会の月から3月31日まで(当年度末)

会員特典 ① イベントの情報や交流に関する情報紙「交流ニュース(年4回発行)・NEWS LETTER(年8回発行)など」をお届けします。
② 協会が実施するイベントに優先的に参加できる会員枠があります。
③ イベント参加費に会員割引があります。

申込方法 入会希望の方は杉並区交流協会まで電話・ハガキ・Fax・E-mailにより申込書類をご請求ください。

「交流ニュース」へのご意見・ご要望・メッセージなどをお寄せください。お待ちしております。